

オオキンケイギクの駆除活動を実施しました

2021年6月2日(水)午後2時から、碧南市港本町の玉津浦グラウンドにおいて、特定外来生物※に指定されている「オオキンケイギク」の駆除活動を実施しました。

本来は、5月30日(日)に、例年活動を実施している矢作川河川敷にて一斉駆除活動を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴い中止となりました。代替として、玉津浦グラウンドにて、規模縮小・感染症対策の上、碧南市環境課主体で駆除活動を実施しました。

オオキンケイギクとは、明治中期に観賞用・緑化用として国内に持ち込まれ、定着した外来植物です。5月～6月頃に黄色いキレイな花を咲かせますが、繁殖力が強く、在来種の脅威となるため、特定外来生物に指定されています。

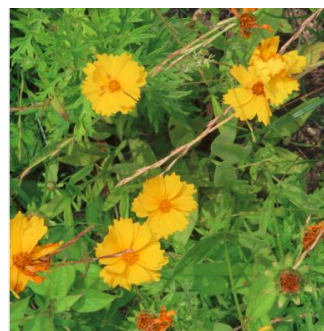


写真1 オオキンケイギク

この場所では、グラウンド周囲の産業道路に沿った形でオオキンケイギクの繁殖が確認されました。オオキンケイギクは多年生であり、根こそぎ駆除する必要があります。この日もスコップで根を掘りながら駆除活動を実施し、約25kgのオオキンケイギク駆除を行いました。

外来種対策は、関係者が協力・連携して、継続的に取り組む必要があります。西三河南部生態系ネットワーク協議会では、今後も外来種対策を含む、地域の生態系保全・ネットワーク形成活動を進めてまいります。



写真2 駆除活動の様子



写真3 駆除後の状態

※特定外来生物

環境省ホームページ <https://www.env.go.jp/nature/intro/1law/outline.html>